

【電子版】



2024年 第14号 2024年 4月26日

発行：自交総連本部

〒110-0003 東京都台東区根岸2-18-2-201

tel. 03-3875-8071

fax. 03-3874-4997

メール info@jikosoren.jp

ホームページ→



「こんな地方にもRSが来るのか」と質問

ライドシェア解禁阻止統一行動

積み重ねが大切と実感

自交総連は、各地連・地本においてライドシェア解禁阻止行動を連日行っています。4月も各地方で宣伝行動が実施されました。

東北 赤旗に宣伝行動を取り上げられ話題に

2024. 04. 20 宮城・定禅寺通り市民広場前

東北地連は4月の「ライドシェア解禁阻止」統一行動として、11日に山形県山形駅前、20日に宮城県定禅寺通りで宣伝行動を実施しました。

20日の行動は、4月22日付のしんぶん赤旗に取り上げられるなど大きな反響を呼びました。



【4月11日・山形駅前】

横断幕・のぼり旗を広げ、ハンドマイクで街頭宣伝を行った。

- 駅タクシープールで客待ちしていたタクシー労働者が車から出てきて、聞いていた。拍手している人もいた。ライドシェアに強く関心を持っているようだった。
- 参加者が少なく、署名などが集められなかった。

【4月20日・仙台市定禅寺通り】

市民広場前で横断幕を広げ、宣伝カーで街頭宣伝を行った。チラシ・ポケットティッシュを配布

- 自交総連の他、建交労と国土交通労組が参加した。
- 立ち止まって訴えを聞いてくれる人がいた。
- ライドシェアについてはかなりの人がわかってきているようだった。積み重ねが大切。（報告者：石垣敦地連書記長）

関東ブロック 神奈川・静岡・山梨をキャラバン

2024. 04. 17 静岡・掛川駅前



関東ブロックは4月16日～17日にかけて神奈川・静岡・山梨で宣伝行動を行い、全体で4地方16人（地方組織を含む）参加しました。

16日の午後1時から横浜駅西口でハンドマイク宣伝を実施。石野議長・堀井副議長・富松事務局長がライドシェアの危険性をタクシープールの仲間や通行中の市民に訴えました。

ティッシュビラの受け取りもよく200枚ほど配布しました。タクシープールの仲間には、新聞も同時に手渡ししました。受け取りも良く新聞は50部ほど配布しました。

その後、浜松駅で静岡地連と合流し、石野議長・堀井副議長・市村副議長・富松事務局長・浜松地区労連の議長がマイクで訴えました。

浜松駅では17時から宣伝を始めたので、タクシーが少なく新聞は手渡せませんでした。ティッシュビラは駅利用中の市民に約100枚配布しました。

翌17日は9時から掛川駅にて石野議長・堀井副議長・市村副議長・富松事務局長でマイク宣伝を行いました。

朝の時間帯でしたが、タクシー約20台に新聞・ティッシュを配りました。その際に、「こんな地方にもライドシェアが来るのか」などの質問を受け、「解禁されればどこでもやられてしまうので反対してください」とお願いしました。

その後、静岡駅で11時から、石野議長・堀井副議長・市村副議長・静岡県評菊池議長がマイクでライドシェア反対を訴えました。駅利用中の市民にティッシュを約100枚配布し、タクシープールのタクシーに新聞・ティッシュを約50個配布しました。ビラ・新聞共に受け取りが良く、ライドシェアの危険性を訴えることができました。

甲府駅では、音を出しての宣伝はできませんでしたが、タクシープールで乗務員との会話で「運賃改定でも売り上げは下がってしまった。移動距離が短くてあまり意味のない運賃改定だ」という声が上がっていました。ティッシュは受け取りが良く、すぐに100枚を配り終わりました。山梨地連の金子さんと名刺交換ができました。（報告者：富松達也関東ブロック事務局長）